わだち WADACHI

vol. 514
2024.7

Fukushima Trucking Association report
福島県トラック協会広報誌

トラックは生活と経済のライフライン

Topics

令和6年度（公社）福島県トラック協会定時総会
トラックトピックス 職員紹介（本部）
物流frankly speaking（後編）



虎取山 山津見神社（飯舘村）

協会公式Xでは
「ふくトラくんと巡る！トラがツクものエトセトラ」
シリーズ記事を紹介中です！

公益社団法人 福島県トラック協会
http://fukutora.lat37n.com/

#女子トラ走る！





プライベート、
仕事、
私らしく叶える。

笑顔も、希望も、やりがいも積んで。
公益社団法人 福島県トラック協会
FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION

Contents –目次–

県ト協NEWS

Gマーク説明会・県へ燃料高騰対策要望・健康管理セミナー … 1
令和６年度(公社)福島県トラック協会定時総会・新役員紹介 … 2
各支部 定時総会 …… 4
青年部 令和６年度定時総会 …… 6
第18回トラック運送事業協同組合全国大会 …… 6
ふくトラネットワーク協同組合通常総会 …… 6
女性に向けたPR事業 …… 7

支部だより …… 8

ふくトラ・インフォメーション …… 8
コラムわだち …… 9
トラックトピックス 職員紹介(本部) …… 10
物流 frankly speaking(後編) …… 12
陸災防 NEWS …… 16
会員だより …… 18
わだち弁当(レシピ)・編集後記 …… 18

お知らせ

交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は下記の通りとなります。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。



第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2024年(概数)	発生件数	6	1	3	3	6								19
	死者数	0	0	0	1	0								1
	傷者数	9	1	3	2	8								23

4つの心得

- 交通ルールの遵守
- 思いやり運転等交通マナーアップ
- 速度の抑制
- 交差点での安全確認の励行

県ト協 NEWS

2024年度 Gマーク事業者向け説明会

開催日　令和６年５月14日㈫　参加者　100名
場　所　ビッグパレットふくしま

県ト協がGマーク（安全性評価事業）の取得推進に向けた説明会を開催した。会場では全ト協からオンライン配信にて当制度について説明が行われた。



Gマーク制度とは

利用者が安全性の高い事業者を選びやすくする等の観点から、輸送の安全の確保に積極的に取り組んでいる事業所を認定する制度。
- 国土交通省が推進する「安全性優良事業所」の認定制度です。
- Ｇマーク認定事業所の事故割合は未取得事業所に比べて半分以下です。
- 安全性の高いトラック運送事業者を選ぶための目安です。

福島県へ県内トラック運送事業者に対する支援を要望

実施日　令和６年５月30日㈭　訪問先　福島市 福島県庁
出席者　福島県生活環境部　細川　了 部長
(公社)福島県トラック協会　佐藤信成 会長　蓬田隆信 副会長
田母神正広 専務理事　清野　隆 常務理事

県ト協は、福島県生活環境部を訪問し要望書を細川生活環境部長へ提出した。
「軽油価格並びに諸物価高騰により経営危機に瀕する福島県トラック運送業界からの要望について」と題した要望書において、昨年度実施された「地域公共交通等運行継続緊急支援事業」を、本年度においても「車両維持に要する経費の一部を緊急支援として助成する事業」として継続実施していただくよう申し入れた。
また、このことについて同日、自民党福島県議会議員会並びに公明党福島県本部にも同内容の要望書を提出した。


【要望書を受け取る細川生活環境部長】


【要望書を受け取る矢吹自民党福島県連幹事長】

令和６年度 健康管理セミナーの開催

日　時　令和６年６月20日㈭　13：30～16：00　参加者　88名
場　所　県中研修センター

講師にＮＰＯ法人ヘルスケアネットワークの作本貞子副理事長、安島なつき保健師を迎え、「定期健康診断のフォローアップの手法とドライバーの高齢化について」をテーマにセミナーが開催された。受講者は、運行管理者の「安全と健康」への意識強化・個人情報に配慮したうえでの健診データの情報共有及び活用の重要性や、睡眠時無呼吸症候群（ＳＡＳ）対策の基本的知識等について学んだ。



令和６年度 福島県トラック協会 定時総会

開催日　令和６年６月７日㈮　　場　所　郡山市（公社）福島県トラック協会 県中研修センター
出席者　678名（本人出席81名、委任状出席597名）
来　賓　国土交通省　東北運輸局福島運輸支局長 佐藤 雅和 様
厚生労働省　福島労働局長　井口 真嘉 様（代理　監督課長　渡辺　満 様）
福島県　生活環境部長　細川　了 様（代理　生活交通課副課長　関根 広紹 様）
福島県警察本部　交通部長　武藤 孝雄 様（代理　交通部統括参事官　本多 文彦 様）

総会は、菅野高志副会長が開会を宣言し始まった。冒頭、佐藤信成会長があいさつに立ち、本年４月に働き方改革法が施行されたこと、マスコミの報道等により荷主との交渉がしやすい環境ができているがトラック運送業界ではまだまだ価格転嫁ができていないこと、長引く燃料高騰により経営が圧迫されていることなどの状況に触れ「標準的運賃が収受できるよう業界が一丸になって国に要請し法制化してもらえるように頑張りたい」と決意を述べた。

続く各来賓からの祝辞では、労働生産性の向上、交通事故防止、労働災害防止等についての呼びかけが行われた。

来賓紹介、祝電披露がなされた後、表彰が執り行われ、県生活交通課副課長の関根氏から「事故防止コンクール事業所表彰」の代表者４名に、佐藤会長から「全ト協表彰規程による表彰」「正しい運転・明るい輸送運動表彰」の受賞者に、それぞれ表彰状と記念品が授与された。

議事では、まず第１号議案令和５年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について田母神専務理事より説明があり、その後大内孝浩監事から監査報告がされた後、原案どおり承認された。第２号議案常勤理事の報酬額等の限度額について、第３号議案会費の種類及び納入方法については、田母神専務理事より説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。また、第４号議案理事の辞任に伴う補欠選任については、役員選考委員会の徳江一敏委員長から、日本通運㈱仙台ロジスティックス第三部部長の鈴木康治氏、第一貨物㈱郡山支店長の阿部淳司氏を役員候補として選考した旨報告があり、全員の拍手をもって承認された。

特別決議では、トラック運送業界では〝物流の2024年問題〟に対して政府が決定した〝物流革新に向けた政策パッケージ〟で示された〝商慣行の見直し〟〝物流の効率化〟〝荷主や消費者の行動変容〟に対し、官民一体となりスピード感を持って取り組んでいかなければならないという認識のもと「荷主とのパートナーシップを構築し、商慣行の見直し及び長時間労働の是正と取引環境の改善を図り、物流の2024年問題を解決しよう」等６つの決議を小野田弘明副会長が読み上げ、全員の拍手で承認された。

総会スローガンでは、「標準的な運賃を活用し、適正運賃収受に取り組もう」「改正改善基準告示を遵守し、長時間労働の是正及び取引環境の改善等〝物流の2024年問題〟への適切な対応を図ろう」等７つのスローガンを橋本一美副会長が読み上げ、全員の拍手で承認された。

報告事項では、清野常務理事より、令和５年度事業報告、令和６年度事業計画書、令和６年度収支予算書、令和６年度近代化基金融資及び令和６年度各種助成事業一覧について報告があり、了承された。

最後に、田母神専務理事より「協会会計処理の本部・支部一元管理への移行について」の説明があり、松尾活秀副会長の閉会のあいさつをもって全ての日程を終了した。



【佐藤 信成 会長】



【佐藤 雅和 支局長】


【来　　賓】


【総会風景】

新役員紹介

1 阿部 淳司

第一貨物株式会社



協会役職　理事
支部役職　県中支部副支部長
会社住所　福島県郡山市安積四丁目 301-1
TEL　024-945-4700
主な輸送品目　商流貨物全般
主な輸送地域　全国

Q. 貴社の強みを教えてください
A. 特積み事業とロジ事業があり、お互いに相乗効果が出せるところだと考えています。

Q. 好きな映画作品を教えてください
A. スタートレックシリーズです。カーク船長の咄嗟の判断と壮大なスケールが大好きです。

Q. 趣味は？
A. リサイクルショップを巡り、掘り出し物を見つける事に喜びを感じます。

Q. 仕事で心掛けていることは？
A. 部下の提言は、頭から否定せずまずやってみるようにしています。

Q. 協会員へのメッセージ
A. 2024年問題、物量の減少、条件改善、人材確保、車両事故の撲滅、輸送品質の向上と毎年課題が増え、つらいなと思う時がありますが、一生懸命役割を果たして行きますので、宜しくお願い致します。



2 鈴木 康治

日本通運株式会社



協会役職　理事
支部役職　県中支部副支部長
会社住所　福島県郡山市大町2-2-1
TEL　024-932-1211
主な輸送品目　工業用製品、電気電子精密機器、食品飲料水、青果物
主な輸送地域　全国各地

Q. 貴社の強みを教えてください
A. グローバルネットワーク・特殊品輸送（重量品、電気電子精密機器等）

Q. 嫌いな食べ物はありますか？
A. 苦手な食べ物は唯一納豆です。

Q. 趣味は？
A. 旅行、スポーツ全般の観戦。

Q. 仕事で心掛けていることは？
A. 毎日従業員一人ひとりが、安全に事故・ケガ・トラブル・クレームなく平穏無事に自宅に帰ることの達成。

Q. 協会員へのメッセージ
A. 会員の皆様方一社一社にとって、平穏無事な毎日を継続することは非常に大切なことと思います。
課題は多岐に亘りますが、達成に向けてこれからよろしくお願いいたします。



（公社）福島県トラック協会各支部 定時総会

県北支部

開催日　令和６年５月９日㈭　　場　所　福島市 ホテル福島グリーンパレス
出席者数　180名（本人出席54名、委任状出席128名）

蓬田隆信支部長より、運輸業界全体の現況と課題及び交通事故・労災事故防止に係る重要性等についての挨拶があった。その中で「労働環境改善で労働時間を短縮しても、賃金を下げないことが重要であり、原資確保のためにも粘り強く運賃交渉続けて欲しい」との会員への呼びかけが行われた。

また、今回の総会から、議決権を持たない会員関係者等で希望する方用の席を用意し傍聴可能とした。



県中支部

開催日　令和６年５月17日㈮　　場　所　郡山市 郡山ビューホテルアネックス
出席者数　272名（本人出席80名、委任状出席192名）



令和６年度定時総会は、終始穏やかに令和５年度事業報告や令和６年度事業計画など議案全てが承認された。燃料価格等の高騰により、危機に瀕するトラック運送業界からの要望活動として、県中支部会員が事務所を置く６市町村へ要望し、小野町を除く５市町村より助成を受けた旨の報告がされ、令和６年度の重点事業・年間スケジュールが報告され、定期健康診断受診後、有所見者へフォローの声掛けをするように強く呼びかけた。

定時総会後の懇親会は、55名の会員の出席で実施され名刺交換や談笑するなど、会場全体がたいへん盛り上がりをみせた。

県南支部

開催日　令和６年５月15日㈬　　場　所　須賀川市 ホテルサンルート須賀川
出席者数　153名（本人出席52名、委任状出席101名）

開会にあたり、橋本一美支部長より、支部活動への協力の御礼、燃料高騰や2024年問題への取り組みについて述べられた。

佐藤信成会長からは、遵守・お客様との交友関係を築く事の重要性について、田母神正弘専務理事からは、財務処理の本部一括処理移行を検討中について、白井郁事務局長からは、安全衛生法の改正について挨拶をいただいた。

議事では、全議案・全報告事項ともに賛成多数で可決承認された。



会津支部

開催日　令和６年５月17日㈮　　場　所　会津若松市 ルネッサンス中の島
出席者数　94名（本人出席32名、委任状出席62名）



田母神専務理事、白井事務局長より来賓挨拶をいただき、議事では令和５年度事業活動報告・同収支決算報告及び監査報告について承認され、令和６年度事業計画の重点施策として、交通事故・労働災害の防止に向けた運動、経営者・管理者の安全活動の徹底、労働対策について、環境対策の推進について、親睦協調を図る施策、災害発生時における緊急輸送体制の確立と防災機能の強化について報告された。

総会終了後、懇親会を開催し、懇親会では東山芸妓と小学生から高校生で構成するチーム獅（Leo）の踊りのアトラクションを実施し、大いに盛り上がった。

相双支部

開催日　令和６年５月10日㈮　　場　所　南相馬市 ホテルラフィーヌ
出席者数　86名（本人出席46名、委任状出席40名）



開会にあたり、遠藤秀弥支部長より「標準的な運賃の収受を目指し、安定した経営の実現に向け、労働時間の管理・福利厚生の充実に取り組み、従業員が安心して長く働ける職場環境づくりの構築、さらには健全なトラック業界への変革を目指す為、会員の皆様にお力添えをいただきたい」と述べた。引き続き、勤続・無事故無違反ともに５年以上の相双支部優良従業員11名に対し表彰を行った。

いわき支部

開催日　令和６年５月10日㈮　　場　所　いわき市 スパリゾートハワイアンズ
出席者数　167名（本人出席52名、委任状出席115名）



伊藤副支部長の開会の挨拶で幕を開け、松尾活秀支部長の挨拶後、田母神専務理事と白井事務局長が来賓挨拶をした。令和６年度いわき支部優良従業員13事業所22名に対し表彰を行った。第１号議案から第３号議案や令和６年度の事業計画と収支予算について全て承認された。

閉会の挨拶を鈴木副支部長が挨拶し無事終了し、総会終了後、別室で懇親会を36名参加で実施した。

県ト協青年部会 令和６年度 定時総会

開催日　令和６年６月21日㈮　　場　所　会津若松市 ルネッサンス 中の島
参加部会員　75名（本人出席44名、委任状出席31名）



青年部会令和６年度定時総会は、はじめに吉田雅弘部会長が「発足から11年目となり役割をいま一度見つめ直し、同世代が情報交換できる環境、切磋琢磨できる環境、人間関係を作れる環境のサポートをできる組織にし、若い世代も活躍できる環境を作りたい。皆さんが青年部に積極的に参加し楽しんで活動に取り組み、それぞれの事業に役立てていただきたい。」とあいさつした。次いで佐藤信成会長、田母神正広専務理事の来賓あいさつに続き、鈴木健之事務局長が下記の議事について説明し全て承認された。特に令和６年度事業計画においては青年部会が成立し10年が経過していることから次のステップへ移行するため、内部向け事業を検討する「研修交流委員会」、外部向け事業を検討する「地域活動委員会」をそれぞれ立ち上げており、今後の事業運営に協議内容を反映することとした。

報告事項　令和5年度事業報告並びに収支決算報告について

議事
- 第１号議案　令和6度事業計画(案)並びに令和6年度収支予算(案)について
- 第２号議案　退任役員の補選について

第18回 トラック運送事業協同組合 全国大会

開催日　令和６年６月12日㈬　　場　所　郡山市 ホテルハマツ





全国450名の参加者の中、福島県トラック運送事業協同組合連合会からは佐藤信成理事長をはじめとする53名が参加をした。

大会は、はじめに、日本貨物運送協同組合連合会 御手洗安会長による主催者挨拶から始まり、来賓祝辞、表彰式、次回開催地の東京都トラック運送事業協同組合連合会 椎名幸子会長の挨拶などがあり、無事閉会となった。

続く懇親会では、福島県トラック運送事業協同組合連合会 佐藤信成会長による主催者挨拶の後、来賓祝辞、乾杯、様々なアトラクションと進み、参加者の皆様に福島県の食材を使った料理や地酒を堪能いただき、盛況のうちに幕を閉じた。

ふくトラネットワーク協同組合 第15回通常総会

開催日　令和６年５月23日㈭　　場　所　郡山市 県中研修センター
参加者　49名（本人出席９名、委任状出席40名）
来　賓　日本貨物運送協同組合連合会　永嶋　功 専務理事
福島県トラック運送事業協同組合連合会　本田　宏 専務理事
福島県中小企業団体中央会　高橋　健 郡山事務所長



佐藤信成代表理事が経営課題として物流2024年問題、働き方改革関連法の課題と対応等を含む内容を挨拶し、総会では令和５年度事業報告や令和６年度の事業計画などの議案全てが承認された。

女性へのイメージアップへ！

令和６年度 女子トラPR戦略事業スタート！

第１弾 オリジナルの紅茶作成！



県ト協では女性がトラック業界に抱くネガティブなイメージを払拭し、クリーンなイメージに繋げるため、女性の視点を取り入れた様々な広報活動を展開しています。

今年度の第一弾の企画として前年度作成したオリジナルコーヒー企画に続いて、協会オリジナルの紅茶を作成します。

６月24日㈪に紅茶づくり作成会が宮城県石巻市の紅茶専門店で開催され、ＰＲ動画にも出演しているモデルのわたひきあやこさん、佐伯広報委員（サエキ輸送）と事務局職員が参加しました。りんごの健康効果やラベンダーやカモミールのリラックス効果に着目したオリジナルブレンドができあがりました。

作成過程の様子はSNS等で発信していきます。また、この紅茶は各種イベントで一般の方々に配布される予定です。



SNS要チェックです♪

「想い」と「ほっと一息」を
届ける女性ドライバーを
イメージしながらつくりました！





トラックドライバーは
「一杯のリラックス」も
運んでいます♪

支部だより

各支部の活動をお知らせ



県北支部　親睦ゴルフコンペを開催

開催日　令和６年５月 26 日㈰　参加者　60 名
場　所　パーシモンカントリークラブ

上位入賞者は、次の通り。

- 優　勝　塚田 和夫（㈱ツカダロジ東北）
- 準優勝　加藤　隆（㈲カネカ運輸）
- 第3位　手塚　進（㈱田崎運送）
- 第4位　矢葺 和則（丸全電産ロジステック㈱）
- 第5位　吉田 政俊（㈱吉田運輸）



県中支部　親睦ゴルフコンペを開催



開催日　令和６年５月 29 日㈬　参加者　39 名
場　所　ボリナ高原ゴルフクラブ

上位入賞者は、次の通り。

- 優　勝　菊地 一彦（エービーカーゴ東日本㈱福島営業所）
- 準優勝　堀口　進（石川運送㈱）
- 第3位　鈴木　学（㈱M's フロント）

会津支部　「安全運転ドライバー研修会」を開催

開催日　令和６年６月１日㈯　参加者　15 名
場　所　会津若松市 扇町自動車学校



会津支部会員事業所ドライバーを対象に安全運転ドライバー研修会を開催した。

研修会では、始業点検として予め仕組んである不良個所の発見、教官が同乗してのコース走行とアドバイス、運転適性検査、交通事故事例等の座学を実施した。受講者は運転の長所、短所を再認識するとともに安全に対する意識を高めた。

ふくトラ・インフォメーション



令和６年度「全ト協優秀運転者顕章候補者推薦」のご案内　推薦期日　令和６年７月19日㈮

下記条件に該当する貴社所属ドライバーの推薦をお願いいたします。

詳細は QR コードから

金十字章　無事故無違反　満20年以上（トラック運送事業の運転者として15年以上）
※建設業の運転者等は該当しません。

銀十字章　無事故無違反　満10年以上（同上7年以上であること）

※推薦書・履歴書の様式は当協会ホームページに掲載しておりますのでご活用ください。

コラム

わだち

vol.08

「トラック野郎」と自動車学校と私

平中央自動車学校　小松　正保

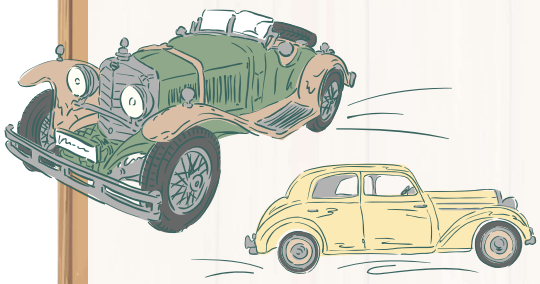
私の車好きは自他ともに認める筋金入りです。子どもの頃、空き地に廃車となって放置されていたボンネットバスの運転席に乗って大きなハンドルを回して楽しんでいたという話を親から聞きましたが、物心がつく前で、自身の記憶はないのです。幼稚園の頃はトラックは大きくてかっこいいなぁと思っていました。

そんな私は長じると、菅原文太が好きだったこともあり、運命に導かれるように、日本中を大型トラックで走る「トラック野郎」に憧れることになりました。最初に「トラック野郎」のビデオを手に入れてからビデオデッキを買ったほどです。シリーズはもちろん全部見ました。ピカピカのネオンがついたトラック、心意気、これはいいぞと。今の時代にはまずいんじゃないのという映像もありますけど、物を運ぶことに命がけ、自分はどうなってもいいけど相手のためにやってやるっ！というストーリーにしびれました。

私から見たトラックドライバーのイメージはやはり「トラック野郎」の世界ですが、実際のドライバーさんはというと、非常に紳士的で優しい方が多いと思います。自動車学校の講習などでは皆穏やかで優しい方、そしてきちっとした方ばかりのイメージです。

さて、若者の車離れと言われています。シンプルにカッコいい！おもしろい！と思える車が減ったのかもしれません。そもそも、昔の車は良くも悪くも個性的でした。今の車は私には同じに見えてしまいます。これ「年寄りだからそう言うんだよね」と思われるかもしれませんが、やっぱり個性って大事ですよね。若者でも手に入る、個性的な車の開発って大事なんじゃないでしょうか。

更に車好きを増やすためには、実際に触れる機会を増やすことが大事だと思います。戦中の米軍のジープなど珍しい車を持っている（ちょっと自慢しました！すみません）ので、そういった車を平中央自動車学校や地域のイベントに展示すると、その車に必ずお子さんが寄ってくるんです。時には七十～八十代の方から「これGHQだろ！この車に乗った米兵からチョコレートもらった」という話も出ます。車って家族の会話にもつながるんです。車は歴史と文化を乗せた浪漫そのものなのです。イベントではトラックも展示しているので、子どもさんを運転席に乗せてあげます。「こんなに高いんだ」とか「こんなによく見えるんだ」って、皆さん目をキラキラして喜びます。触覚や嗅覚とかの感覚に訴えるもののほうが子どもは喜びます。いくら良いことを話しても体験には敵いません。実際に触れる機会をいっぱい設けてあげると、皆さん興味を持つんじゃないのかなと思っています。



私の本職である自動車学校での教育の変化などについても話を聞いていただきたいと思います。昔はどこの自動車学校にも鬼教官みたいな人がいましたが、現在は「褒める」「個人の特性を分析しながら指導する」ことが大切です。

自動車学校の話からずれますが、私が中学の頃は、学校の先生に竹刀やスリッパで頭を叩かれたものでした。でも、そういった先生は「遊ぶ時は一生懸命遊べ！だけど、やることはしっかり責任をもってやれ！」というような感じでしたよね。今そんなことをすれば大変なことになりますが、想い出すと懐かしいし、その時代全部が悪いわけではない、とも思います。

今は「なぜそうするの？」ということをしっかり伝えなければならない時代だと思います。ルールを守らなかったり、未熟な技術のまま運転してしまうと、いつか重大な事故になる。その時、自分だけでなく自分の大切な人がいなくなるかもしれない。そんなことを思いながら運転して頂けるよう指導しています。

最後にトラックドライバーの皆さんへ一言。男性・女性問わず大きなものを操縦する。しかも大きいからこそ、繊細な運転が必要になってくるわけです。それをできる人っていうのはやっぱり素晴らしいし、尊敬します。また、若い方には色々な体験してほしい。まずはやってみることで新しい気づきに出会うことがあります。仕事には広い視野が必要です。どんな体験もその視野を広げることとなるでしょう。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

トラックトピックス

Truck Topics



職員紹介

本部職員に聞きました！「あなたの活力源」

福島の夏はとにかく暑い！真夏本番を乗り越えるために、本部職員の活力の源を調査しました！ あなたの活力の源はなんですか？？

総務部



次長 加藤 規明

ドライブ
（海や山の自然を見に行くこと）



係長 加藤 和江

孫と一緒に「おかあさんといっしょ」見てま～す♥



主任 森口 政人

Fight!

娘の大会の応援に行くこと



主任 二階堂 宏美

2才6ヶ月になりました！

見てるだけで、クスッと笑わせてくれる子供です



係員 一瀬 亜希子

富士山と焼肉

業務部



部長 藤家 義弘

私、ハルキストです

村上春樹ライブラリーに行ってきました
（バックに映るイラストは村上氏が描いた羊男です）

わだち511号のコラムにも書きました～♪



次長（助成金グループ） 佐川 修一

登山、オートバイ、バスケ、野外フェスetc...
実は意外とアクティブです！



係長（助成金グループ） 杉田 敦美

息子3人の追っかけ😏ニヤッ

頑張っている姿にパワーをもらっています!!

業　務　部



次長（広報グループ）
菅野 陽

家族と過ごす
大切な時間



子供３人との虫取りで
気づけば夢中になって
いました



課長（広報グループ）
佐藤 潔志

楽器演奏と北欧の
ポストロックと呼ばれる
音楽が好きです



主任（広報グループ）
久保 和典

子供との時間
ゲーム（FF14）



最近育休から
職場復帰しまして、
毎日ドタバタしながら
子育て真っ最中です



係員（広報グループ）
矢吹 裕美

ケツメイシが大好きな、
かなりのケツメバカです♪

適正化事業部



部長
小野 幸吉

evening drink time
（夫婦で晩酌）



次長
高橋 儀行

２人の孫
下の孫が今年「スケボーデビュー」しました



課長
瓶子 知之

高校野球をやっている息子の
追っかけが活力の源です

そのあと飲酒しながらの
反省会とグラブ磨きも
また楽しいです



主任
遠藤 正樹

特に海外食品の
パケ買いは面白いです

食べること
これは趣味ですが、新たな味覚を求め
業務スーパーなどを物色するのが好きです



係長
菅野 誠

サイクリング、旅行に行くこと
（全47都道府県制覇が目標です）

福島県トラック協会　人事異動のお知らせ

下記のとおり人事異動がございましたので、お知らせいたします。

新役職	現役職	氏　名
業務部係員	総務部係員	ヤブキ　ヒロミ 矢吹　裕美

2024年５月１日付

物流
frankly
speaking

～学生と若手経営者の意見交換会～ 後編

2024年4月10日（水）13：10～
（公社）福島県トラック協会 2階大研修室

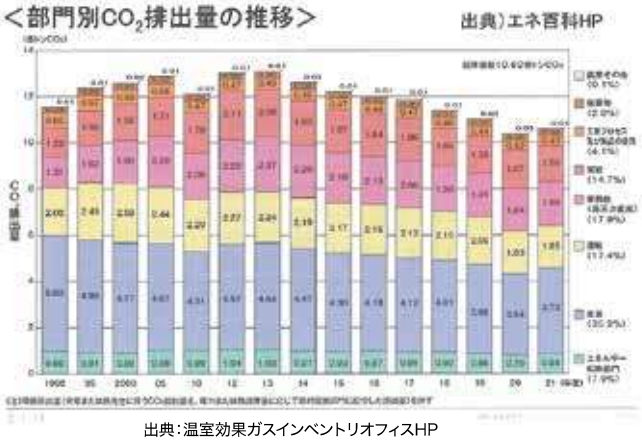


意見交換会の参加者／左から、トラック協会 田母神専務理事、株式会社デイリーサービス 引地社長、福島大学大学院2年 小峯さん、福島大学 石川教授、福島大学4年 大谷さん、須賀川東部運送 吉田社長、トラック協会 藤家業務部長

運送業界がカーボンニュートラルへ向けてできること

石川／それでは、次のテーマに行きたいと思います。3つ目のテーマ、カーボンニュートラルですね。最近私がヒアリングした企業は、上限規制よりもむしろこっちの方がきついと。時間外労働の上限は守ってるんだけども、カーボンニュートラルに向けて車の買い替えとか考えると、ちょっと間に合わないんじゃないかと思ってる。そのぐらい今、運送業界さんも問題視というか、どうしようかと思ってらっしゃるところじゃないかなと、テーマにしました。

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。排出量を0にするというよりも、確実に0にはできないものなので、出す分は吸収するような取り組みをして、トータルでゼロにしようというのがカーボンニュートラルの考え方です。



出典：温室効果ガスインベントリオフィスHP

日本のCO_2排出量の推移ですが、21年度を見てみると、大体日本全体で11億トン弱CO_2排出されていて、そのうち運輸は17.4%という数字です。運輸は物だけじゃなくて人の輸送も入ってますので、これが全部物流業界というわけではないですけど、10%以上は物流業界が排出してるのかなというイメージはあるかと思います。

それに対して、どんな対策がとられているかというと、1.ネットワーク最適化、2.輸配送設備投資、3.拠点設備投資、4.顧客体験、に分かれています。例えば、先ほどの私がヒアリングしたところの例で言えば、2の輸配送設備投資の❷番ですね、車両のEV化を進めるとか、そういうことで悩んでいるんじゃないかなと。その会社、農業を始めようかなみたいなこと言ってましたけど、吸収側のことも考えているんじゃないかと思います。

以上がカーボンニュートラルの簡単な説明です。これに関しては学生さんからいきましょう。今回は小峯さんからカーボンニュートラルという言葉をそもそも知ってるかというところから聞きたいと思います。



出典：PwC Japan HP

小峯／カーボンニュートラルという言葉は、講義で聞いたことがあるぐらいの程度ですね、その排出量と森林の木々が吸収する量を等しくしようみたいな。相対的に0と考えようみたいな考え方というレベルで知ってます。
石川／どの業界とかそういうんじゃなくてですか。
小峯／そうなんですね。発電の方で、その再生可能エネルギーに転換していくことで、排出量自体を減らしていくという話は聞いています。
石川／はい、ありがとうございます。大谷さん、いかがでしょうか。
大谷／はい、自分も大体概要がその講義で触れられて知ったという感じですね。
石川／わかりました。福島大学は水素とか再生エネルギーの研究にも力を入れてますので、そういう授業もあるんじゃないかと思います。それでは、経営者の方にお伺いしたいと思います。このカーボンニュートラルに向けて今どのような課題を抱えているか、あるいはどんな取り組みをされてるかを教えてください。吉田さん。
吉田／ちょっとその前にEV化とかですね、長距離輸送に関しては、バッテリーが相当軽量化されないと現実問題として積載重量が取れないです。10t積載できるところにバッテリーが6t積まれたのでは、4tしか積めないの？　みたいなですね、そういう技術的な問題が、水素で解決するのかどうかという、トラックに関してはそこを待つしかないんじゃないかと感じています。

拠点設備投資は、倉庫に関して言うとほぼやっていますよね。みんな新しく整備されているところは取り組んでいるので、ほっといても技術的にもクリアしていくのかなと。

問題は、やっぱりトラックのディーゼルエンジン、これがほんとにどうやって我々吸収したらいいんでしょうって想像を絶します。燃費を上げるというのは地球に優しいんですけど、結局自分のところの利益も増えるので、これ方向性一緒なんでですね。積極的に皆さん取り組んでます。ただ、ほんとにこれがニュートラルになるのかなというところを考えると、ちょっとできることってほんとに選択肢が少ないなというのが正直な感想ですね。
石川／はい、ありがとうございます。では引地さん。
引地／現実に今やってるのはトラックのアイドリング。輸送以外のアイドリングの時間を会社で見ています。月ごとに、車両ごとに減らしましょうということで。冬場は早朝だとエンジンをかけなきゃいけないので、積んでいる間30分、1時間ずっとエンジンかけてると無駄なんです。SDGsの研修しながら、これをみんなでなんとかできることないかと、自分たちで考えました。じゃあ積むときに荷物を集めてきて、積むときだけエンジンかけて、積み終わったら止めて、また集めてきてというふうに。今大体その割合が1桁台になりましたね。その方が燃費のエコ運転するよりもはるかにコスト効果高くて。燃料代が上がった分、うまくそれで吸収しているような状況なので、このアイドリングは、そういうふうにやっています。

今の時期だとだいぶ暖かいですが、ドライバーさんの涙ぐましい努力ですけど、冬場に太陽の方にトラックを向けて休憩するとか、陽射しを当て暖房をかけない 。夏は逆に涼しい方にトラックの頭を向けて、暑くないようにしたりとか、そういうことをやってるドライバーもいますね。頑張ったねってところは、賞与の時にちゃんとその項目で評価しますけども。

あと、会社の取り組みでは、今回、2024年問題に向けて、車両を大型化しました。ドライバーの労働時間短縮とその輸送の効率化、それによって二酸化炭素の排出量とか、燃費の無駄なのを減らすということをやっています。
石川／なるほど、わかりました。ありがとうございます。これは協会さんにもお話お聞きしたいところですね。どんな取り組みをされてるか教えください。
田母神／いくつかの点でお話します。福島県トラック協会としても、カーボンニュートラルを進める上で、まず1番最初にできる話がタイヤですね。エコタイヤに助成金を出して、なるべく通常のタイヤより燃費効率のいいエコタイヤの導入を推進しています。去年1年間でも1万9000本ぐらいですか。ちょっと予算を増やして、タイヤについては力を入れて挑戦しています。

あと、吉田社長の方からあった通り、EVというのがまだ技術開発の途中で、営業車両として使うには走行距離が短いとか、あとは自重が重くなってしまって積載重量が確保できないなど、課題がいっぱいあります。最近はFCV（水素燃料電池車）、水素ガスで発電をして、その発電したバッテリーでモーターを動かして車を動かす。効率いいようですが、非常に機械が重いということで、これも今パフォーマンス的に、「うちは環境に取り組んでますよ」という企業さんが何社か入れています。コンビニのルート配送であったり、いわゆるラストワンマイルと言われるその短い距離であれば使えるんですが、幹線輸送だとかそういうのにはまだまだ使えない。東京の方で実証実験が今度始まりますが、水素を内燃機の中で燃やすような仕組み、トヨタがレースに一部ガソリンの代わりに出ていますが、これの大型エンジンの開発が進んで水素ガスそのものを供給さえできれば　ガソリンエンジンと同じようなことができる。そのための危険性だとか安全性だとかがこれから検証される。まだ技術が追いついてないということで、今協会としては、FCVの4t車クラスでスーパーやコンビニの配送なんかに使うトラックに対して、いわゆる一部助成をするという考え方で取り組んでます。まだこれは実証実験の域を出ていなくて、結局、今4t車、通常の車両の4倍ぐらいするんですよ。ですから、4t車が通常レート車で1000万前後ぐらいで買えるとすれば、水素燃料電池車は4500万～5000万弱、大型の10t車は1億というレベル感で、国がその差額分の3分の2を出す。1000万のものが例えば5000万だとすれば、4000万高いわけですから、4000万の3分の2は出してもらえますが、3分の1は事業者がプラスアルファで負担しなきゃならないので進まないんですね。そこら辺をなんとかしなくちゃならないということですが、これは、今後汎用的に広がるようになれば、車の製造コストも下がってくるんだと思いますが、今試験的に1つ1つの部品を開発しながら提供しているので、どうしても単価が安くならないようです。ただ、これが　日産自動車のサクラだとかいう軽自動車でも300万するんですからね、EV車って。

だから、そういうことからすると、事業用のトラックはまだまだ高いので、早々にニュートラルと言われても、事業者としてはこの厳しい経営状況の中では進まない。国や県が推奨してる部分に実証実験として協力をするというレベル感で今は推移をしていると。

その他には、いわゆるトラックのエネルギーマネジメントシステム（EMS）という助成をしていまして、いわゆるアイドリングストップであったり、大型トラックの場合だと、蓄熱式クーラーっていうんですかね、エンジン止めても何時間かこう冷たい風が出続けるとか。こういったものの導入補助などをして、アイドリングストップで燃料を使わないようにするというようなことです。あとは、環境対応車ということでは、そのほかハイブリッド車とかLNG車とか、今いろんな研究的に出されてるものがあって、それらを導入した場合の補助などにも使っているということですが、この方法が1番良いという方法がまだ確立してないのでなかなか進まないです。

このカーボンニュートラルの話では、いわゆるモーダルシフトとか色々あり、よく鉄道に切り替えれば良いのではないかというんですが、日本の鉄道は人流優先なものですから、災害発生時に1番最初に止められるのは物流です。いわゆるコンテナ輸送が止められます。再開通した時に最初に通すのが人流で、それが終わってからしか物流は通してもらえない、ということなので、例えば日本のいろんなところで台風が来たり大雨災害があったりして鉄道の路線網がダメになった時に、日本の国が最優先して通すのは人流なんですよ。物流はその次なので、どうしてもそのモーダルシフトに関して言うと、日本の国内で災害があった時に途絶してしまう。ですから、モーダルシフトをやりながらもトラックのバックアップ機能を保有し続けなければならないというちょっと問題点が今内在してます。

あと、港湾の関係もですね。実は日本には90いくつの港があるんです。それをうまくネットワーク化すれば本来は大量輸送に耐えられるのではないかということなんですが、これが国の政策じゃなくて、その県その県が港が欲しい、おらの町にも港が欲しい、こういうふうに作ったものですから、ネットワークされてないのと、日本って背後地が少ないものですから、大量輸送した時のストックポイントがうまく確保できないと。1回に船で5000tとか1万tとか運んでも、それ一気に運ぶわけにいかないですね。そこは1回港の近くの倉庫に仮置きをして、そこから常に10t車とかそういうので運ばないといけないので。それは背後地の物流機能っていうのが脆弱で、船便と言いながらもなかなか使えない。そういう内在的な問題があって、モーダルシフトも国交省を中心に色々検討はしてますが、これという手段がないのが現状です。

石川／わかりました。ありがとうございます。この点、もともと決めるときに協会さんの方から 未来に向かって話をしたいということでこのテーマにしたんですが、結構問題山積みというのはすごくわかってよかったかなと思います。色んな話を聞けました。

その他

石川／ありがとうございます。3つのテーマについて、もっと聞きたいことがあると思うんですけど、これでお話が一通りできました。それでは、ここで参加していただいてる6人の方それぞれに、1個だけ質問していただく権利をお渡ししたいと思います。誰に対しても構わないので。

吉田／私は学生のお二人に質問です。物流に興味を持つというのはどういうことなんですかね。トラックが好きとか、組み合わせが好きとか、交通システムに興味があるとか、色々あるじゃないですか。なぜ先生のゼミに入ったの？ どうですか？

小峯／どういう経路で運んだ方が一番効率がいいのかみたいな話を、先生からそういう研究をしていると伺った時に、数学的だなっていうのを感じて。まず物流にあまり数学っていうイメージを持ってなかったので、数学的な面があるんだっていうのは興味を惹かれた点です。身近なことに数学が用いれるっていうのが結構面白さに感じたのが入ったきっかけです。

石川／初めて聞きました。大谷さんは？

大谷／そうですね、僕はまず経営システムコースというのが、その他のコースに比べて結構イメージしやすかったんですよ。実情というか、講義内容とかで。その中でも物流に関する話がやっぱり身近というか、実感しやすいなって思いました。普段Amazonとか使ったりして触れる機会があるので、そういう物流です。

吉田／新しく入ってきた社員に物流業界でうちの同業者ってどこだと思う？ と聞いたことがあって、楽天と言われたことあったんですよ。うちの会社と楽天、同列に見てくれているんだ。へえと思いましたけど、やっぱり若い人は物流って言うと楽天とかAmazonとかね、そういうイメージですよね。なんとか運送とか出ないですよ。

石川／はい、ありがとうございます。引地さん、どうぞ。

引地／同じ質問に近いかもしれないですけど、どうしたら物流に入りたいと思うのかということと、今先生の話聞いてて、そういえば大学の講義にロジスティクスとか物流の講義がそもそも無いなと思っているんです。もっとたくさんあればね、この業界ってこうなんだって、今数学って話



出ましたけど、こんな面白い業界なんだなって。そんなのがあったらもうちょっと視点変わって、物流を少しかじってみようかとか、ロジスティクスと物流の違いはなんだとか、サプライチェーンとはなんだとか、その辺かじってもらえるといいのかなと思いました。どうなんですかね、その辺。もっと知れる機会とか、どういうふうに入ろうと思うような、そういうきっかけとか。

大谷／受け身だとどうしても、その場限りで終わっちゃうこと多いと思うんですよ。興味持ってもらって、自分から何か物流業界に触れるような手助けができればいいんじゃないかなと思います。

小峯／農業だったら、学んでることがその仕事に直結するっていうのがわかると思うんです。物流だったら研究をしていればその研究が生きるっていうのはわかると思うんですけど、他の学問で数学のことを学んだりするときに、自分が学んでることがどう生かせるのかっていうイメージがなかなかわからないです。

引地／先生の講義にちょっと行かなきゃダメだね、出前で俺も喋んなきゃなんないんじゃないかな。

石川／日本ではなかなか物流を専門にやっている大学は少ないですよね。流通経済大学や東京海洋大学などがありますが。学部とか大学としてロジスティックスを担う人材を育成するというところはすごく少ないですよね。それはもう課題です。私の授業で物流を教えていますけども、すごく一部の知識しか教えられません。例えば、東京海洋大学であれば、ロジスティックスの人材を育成するための科目が揃っているんですよ。お試しに話を聞くのではなくて、交通経済の視点から見た場合とか、工学的に普通に考えた場合とか、そういうふうにセットになってると、物流業界へ行きやすいのかもしれませんね。ただ、私の講義で私の力不足があるんですけど、ちょっと講義しただけだとやっぱりなかなかそっちの道に行こうとは思わないかもしれないですね。

　では、学生側から、小峯さんからどうぞ。

小峯／コロナ禍の物流で、コロナ禍特有のなにか困ったことありますか。

吉田／食品に関してはですね、外食がガクンと落ちて、スーパーとかの中食の売り上げがガンガン伸びて、外食運んでるうちがドーン下がる。それが半年から1年続いて。今はそれがまた戻ってきましたが、人の動きと中食がこう売り上げ伸びたっていうのはもう露骨に出ましたね。

引地／そうですね、ドライバーがどこどこの店でコロナが出たとかね、誰々が出たって情報をすぐ持ってくるんですよね。なんか運びたくないとかなんとか、医学的な部分がまだわからないからそう思いますよね。でも、そこは使命感で、我々が運ばないとお客様のところに届かないよって話をして、1人ひとりに消毒液持たせました。だから心配しないでと言って運んでもらったことがありましたね。

石川／ありがとうございます。では大谷さん。

大谷／トラック運送業界って中小企業が多いと思うんですけど、インボイス制度によって、立ち行かなくなるみたいなことって、どのくらい起きる可能性はありますか。

吉田／これ売り上げ規模によるからね。1000万以下だからね。1000万は軽く超えていくと思います。あんまり売り上げ1000万以下の運送会社ってないかもしれないです。私どもの取引先でインボイスで立ち行かなくなってというのはなかったですね。その売り上げでいうとそうですね。

田母神／ただ、手間がかかるようになりましたね。仕入れにしても何しても、税制適格事業者なのか、そうじゃない事業者から買ったのかによって経理処理の仕方が変わったり、それを整えなきゃならないっていうことで、今までこう簡易的にできた部分が明確にそのインボイス対応の購入物なのか売り上げなのか、そういうのを分けて整理をするっていう、ちょっと手間がかかるようにはなってしまう。そこに電子帳簿保存法が入りましたので、これまでオンラインでぱっと見て済ましていたものが全部データでバックアップしなきゃいけないとか、余計な手間がかかるようになったりと。だから、そう、もうちょっとシステムをきちんと作り上げた上でやってほしいなって気はしますけどね。

石川／ありがとうございます。では藤家さん。

藤家／私は特に質問ではなくて、この業界に入ってまだ5年目なんで、どっちかというとまだ学生の側に近いところもあるのかなっていうのあるんですけども。先週の土曜日でしたかね、NHKで新プロジェクトXがまた始まったので、東京スカイツリーだったんですけども、分厚い板を丸めて巨大な鋼管を作るのは徳島の工場でやって、東京の墨田区に出来上がった鋼管を運ぶ、そのトラックがパッと一瞬映ったんです。私、この業界に入る前でしたら、全然そこは気づかなかったと思うんですよ。ただ、協会に入って、どういうふうにPRしたらいいんだろうなって考えてると、その徳島の工場で映ったトラックに目が自然に行っちゃったわけですよね。どんなに立派なものを作ったとしても、それを東京の墨田区まで運ばなければスカイツリーは建たなかった。そういう意味で、物流って大事なんだなって思いました。でも、まだまだ世間的には認知度も低いし、逆に業界の側から言うと、PR度が少ないのかなっていう感じがしました。大事なものを担っているんだっていうようなことをもっとわかってもらって、使命感なり、ロマンっていうか、夢というか、ぜひNHKでも将来こういう業界を取り上げてもらえるといいな、と思いながら見てました。

石川／はい、わかりました。ありがとうございます。最後に何か講評をと言われてるんですけども、なかなか、いろんなお話をお聞きできたかなというふうに思っています。この短時間であってもいろんなお話聞けたので、参考になっていればいいかな。例えば、そうですね、私はテトリス感という言葉が非常にヒットしまして、授業で使おうかなと思います。あと、協会さんからの話は、多分教育側に対しての要望とかも含んでる話だと思うんで、真摯に受け取って、今後も人材を育成し、研究もしたいなと思っております。ぜひ皆さんにもご協力をお願いすることはあると思いますが、よろしくお願いします。一応今日はこれで終了とさせていただきますけど、また機会がありましたらぜひよろしくお願いいたします。それでは、ありがとうございました。

陸災防NEWS 今月のお知らせ

令和６年度 陸災防福島県支部定時総会

開催日　令和６年6月7日㈮　　場　所　郡山市 福島県トラック協会県中研修センター



令和６年度陸災防福島県支部定時総会は、福島県トラック協会定時総会終了後に引き続き開催された。提出議案は、第１号議案「令和５年度事業報告」、第２号議案「令和５年度収支決算」、第３号議案「令和６年度事業計画(案)」、第４号議案「令和６年度収支予算(案)」について、それぞれ原案通り承認決定された。事業計画は本部方針を踏まえ、陸上貨物運送事業労働災害防止計画（令和５年度～令和９年度）の目標達成のため、荷役労働災害の防止を最重要課題とし、改正労働安全衛生関係法令及び改正荷役ガイドラインの周知徹底や荷主等における荷役災害防止活動推進への支援に取り組むとともに、「交通労働災害防止のためのガイドライン」の周知徹底等を推進することとし、改正改善基準告示の周知徹底により、長時間労働による過労死等の予防、メンタルヘルス対策等の健康確保対策を推進することを重点課題とし取り組むこととした。

令和6年度 主な事業計画

1．「陸上貨物運送事業労働災害防止５ヶ年計画」に基づく、本年度の福島県支部の目標

＊死亡災害者数：ゼロ　＊死傷災害者数：203人以下　＊安全衛生推進者の選任を徹底し、レベルアップを図る。

2．事業場の安全衛生水準向上の取り組み推進

⑴労働災害防止計画の推進　⑵「安全衛生レベルアップ支援事業」の取り組み　⑶「陸運事業者のための安全マネジメント研修」の実施
⑷本部安全管理士、衛生管理士、安全衛生管理員の積極的な活用による講習会等の実施
⑸災防指導員会議・研修会等による災防指導員の水準向上と事業場への個別指導取り組み促進
⑹労働災害防止強調運動期間の会員事業場巡回指導強化　⑺「陸上貨物運送事業労働災害防止規程」の周知と遵守の徹底

3．荷役運搬作業の安全の確保

⑴荷主等における荷役災害防止活動の推進　⑵荷役運搬作業中の墜落・転落等の災害防止についての指導援助
⑶フォークリフト等荷役運搬機械による労働災害防止の徹底

4．交通労働災害の防止

⑴「交通ガイドライン」に基づく取り組みの推進　⑵改正「改善基準告示」の徹底　⑶交通労働災害防止のための取り組み

5．健康の保持増進対策の推進

⑴過重労働による健康障害防止対策等の推進　⑵メンタルヘルス対策の推進　⑶一般健康管理等の推進
⑷「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の取り組み

6．安全衛生教育の実施

⑴技能講習等の実施　⑵各種研修会等への参加勧奨等

7．安全衛生意識の高揚

⑴創立60周年記念大会全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会への参加　⑵安全衛生表彰、優良フォークリフト等運転者表彰者の積極的な推薦
⑶「小企業無災害記録表彰」「小企業無災害記録証交付」の積極的な推薦　⑷安全衛生標語の応募勧奨
⑸安全衛生意識高揚のための安全衛生広報用品の周知と活用　⑹福島県支部ホームページによる安全衛生情報の提供

8．協会組織の充実強化等

⑴福島県トラック協会との連携強化　⑵本部・支部間、関係機関・団体等との連携強化　⑶協会組織の効果的、効率的な運営及び財政の健全化

9．会費の額と納入方法

⑴会費の額　1会員　1,000円/月　⑵納入方法　福島県トラック協会会費納入時に納入

令和6年度 役員等の選任

1．支部委員・監事

支部長 佐藤　信成(相双分会)　副支部長 蓬田　隆信(県北分会)　副支部長 小野田弘明(県中分会)　副支部長 橋本　一美(県南分会)
副支部長 菅野　高志(会津分会)　副支部長 遠藤　秀弥(相双分会)　副支部長 松尾　活秀(いわき分会)　常任委員 田母神正広(トラ協専務理事)
委員 清野　隆(トラ協常務理事)　監事 櫻井　誠(県北分会)　監事 川合　幸治(県南分会)　監事 橋本　有広(いわき分会)

2．本部総代

総代 佐藤　信成(相双分会)　総代 蓬田　隆信(県北分会)　総代 小野田弘明(県中分会)　総代 橋本　一美(県南分会)

令和6年度 第1回陸運災防指導員・分会事務局長会議

開催日 令和６年6月17日㈪　　**場　所** 福島市 福島県トラック協会会議室


【災防指導員会議】

令和６年度第１回陸運災防指導員・分会事務局長会議を開催。会議冒頭、佐藤支部長より「これからの季節、熱中症に注意しなければいけない時期になってきた。特に荷主先では日陰で待機できる場所などが少ないのではないか、また危険な場所なども含め洗い出しを行い、要望すれば荷主も対応してくれるのではないか、環境の改善を図るために自分の会社も含め、現場を確認するなどをして、リスクアセスメントをしっかり行えば労働災害防止につながると思う。指導員の皆様には目線を変えて指導してほしい」と挨拶があった。

続いて、来賓の福島県労働局健康安全課田中課長様より、「第97回全国安全週間、熱中症の発生状況に続き、令和5年度の福島県内の労働災害発生状況について」の説明を頂き、その後、議事に入り令和６年度の事業計画の具体的な取り組みと、夏期労働災害防止強調運動について討議を行った。

陸災防「令和6年度 安全衛生標語」

「令和６年度安全衛生標語」の募集を行ったところ、全国で6,549作品という多くのご応募をいただきました。福島県支部からは3,013作品のご応募いただき誠にありがとうございました。応募参加事業所に対し副賞として飲料水を贈呈いたしました。

福島県：入選作品（敬称略）

＊健康部門

［最優秀賞］ **健康診断 受診はスタート 向き合いましょう 健診結果**／吉田運輸有限会社　吉田 明美

［優 秀 賞］ **聞こう話そう あなたの悩み 仲間とケアする メンタルヘルス**／岩代運送株式会社　阿部 真希

夏期労働災害防止強調運動

7月1日から31日において夏期労働災害防止強調運送を実施します。死傷災害の多くを占める荷役災害を重点に、近年、陸運業で問題視されている長時間労働による過労死等の予防にも注力しながら、労働災害防止対策への取り組みを一層進めてまいります。



❶実施期間 令和６年７月１日㈪から７月31日㈬まで

❷スローガン **「身を守る 三点支持を 習慣に」**（令和６年度安全衛生標語 荷役部門優秀作品）

❸主な取組事項

ア　各分会

①災防指導員（分会事務局長）による会員事業場の巡回指導

②「陸上貨物運送事業労働災害防止規定」の周知

③所轄監督署との合同安全衛生パトロールの実施等

イ　会員事業場（要請書）

①経営トップ自ら労働災害防止のための所信を表明し、職場の安全パトロール等を行い、労働災害防止について従業員への呼びかけを行う。

②安全管理者、安全衛生推進者等は取組期間中「職場の安全衛生自主点検表」により職場の安全衛生点検を行い不適事項を改善する。

③安全旗の掲揚、安全ポスター・のぼり等の掲示による本運動の周知と意識高揚を図る。

＊②の「職場の安全衛生自主点検表」を同封していますので、各事業所で点検を行い、結果を陸災防福島県支部まで、FAX等で送付願います。

会員だより

会員事業所の最新情報



新規入会事業所

支　部	店・社名	代表者名	郵便番号	住　所	車両台数
県北	トゥーホーム福島トランスポート（同）	小　丸　　豊	960-0231	福島市飯坂町平野字代 7-16	5
	トゥーホーム福島物流（同）	小　丸　　豊	960-0231	福島市飯坂町平野字代 7-16	6
県中	ガスプロダクツ・ロジスティクス㈱　郡山営業所	髙 木　一 也	969-1103	本宮市仁井田字一里壇 24	6
	一八興業㈱	佐久間竜瑠	963-4317	田村市船引町東部台４丁目 132	5
県南	㈱丸福運送　福島営業所	佐川　周司	962-0125	須賀川市堀込字堀切 156-1	9

新賛助会員事業所

支　部	店・社名	代表者名	郵便番号	住　所	車両台数
いわき	㈱丸康総業	菅野　優樹	971-8101	いわき市小名浜字栄町 6-2	6

トラックドライバー向けレシピ開発に向けて学生とコラボ

福島県では急性心筋梗塞が多く、特にトラックドライバーの生活習慣病が深刻な問題です。その原因の一つに塩分の摂取率の高さやドライバーに偏った食生活の方が多いことが挙げられます。そこで、食物栄養に詳しい学生たちと一緒に、トラックドライバーに向けた弁当レシピ開発プロジェクトを始動しました。

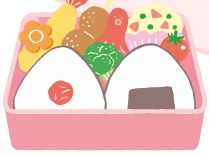
５月23日、県ト協から事務局３名、女性部からは日配運輸の引地さんが参加し、福島学院短期大学の食物栄養学科の学生８名、先生３名との意見交換会を行いました。その中でドライバーの勤務体制や食生活について現状を共有しました。「簡単に作れて手軽に食べられる、そして美味しいヘルシーなお弁当」をコンセプトに、学生たちの工夫を凝らしたレシピ考案への取り組みがはじまりました。

完成したレシピは求評会（試食会）で披露される予定です。９月号のわだちでは、求評会の様子や学生たちが考案したレシピを紹介します。



ドライバーの皆さん

学生が作ったお弁当の試食会に
参加しませんか？
7月27日に開催予定です！
ご興味のある方は、業務部まで
お問い合わせください。





※参加できる人数に限りがあります。お早めにお問合せください。

編集後記

本誌において今回は職員紹介を実施しております。私も家族と個人での写真を掲載しておりますが、個人の写真は子供にプロデュースをお願いし、家族で楽しみながら写真撮影を行いました。結果、わんぱくな仕上がりとなっております。職員同士でもそれぞれの知らない一面も知ることができ、私のジワジワくるお気に入りの写真を見つけることができるなど楽しい編集作業となりました。

菅野



福島大学や福島学院大学の学生たちと連携して企画を進める中で、若者たちとの交流の大切さを改めて感じました。運送業について尋ねても、学生たちは「？？？」といった反応ばかりです。業界の魅力を伝えるには、発信力の強化と交流が欠かせないと実感しました。
また、今年の広報は会員の皆さんの人柄や内面をより深く紹介する企画や記事を増やしていきたいと考えていますので、皆さんのご協力よろしくお願いいたします。

佐藤



７月号より、編集の一員になりました。
皆さんにもっと楽しく読んでいただける「わだち」になるよう、私自身も楽しみながら、学びながら、取り組みたいと思います。
長い育休から職場復帰したばかりでパソコンに触れるのが２年ぶり…家族以外の大人との会話も２年ぶり…。
時代はＩＴ化、そして、何より編集の業務に携わる中で感じたことですが…
ニホンゴッテムズカシイデスネ…
(._.)

矢吹



トラック広報　わだち７月号（通巻514号）

2024年７月１日発行（2ヶ月毎に１回）

編集発行　公益社団法人 福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755㈹　FAX 024-558-7731
HP　http://fukutora.lat37n.com/

